

秋の「の」楽「ン」エス、好天の日曜日と人田

9月5、6の両日、キトウシ森林公園で、恒例の「第47回くらし楽しくフエスティバル」が開かれました。今回は、初日悪天候に見舞われ、時



折強い雨交じりの天気で出鼻をくじかれました。しかし2日目の日曜日は陽気が回復し、旭川市内や近郊から休日を楽しむ来場客でにぎわいました。会場には出来秋の大根、人参、ジャガ芋、トウモロコシ、にんにく、豆類キノコなど、地元農産物がどっさり山積み。ゆでトウモロコシや若鳥の丸焼き、焼き鳥、ラーメンなど、おいしいにおいに誘われて、初日の雨天を盛り返す家族連れでにぎわいました。恒例のフリーマーケット会場は、200店以上の出店で会場いっぱいになり、リサイクル子供服や目当ての掘り出し物を求めて、大勢の来客で混雑しました。

「サドー東」オーケストラが「フエスティバル



8月30日、コンサドール札幌(西町2)グラウンドで、第2回東川町サッカーフェスティバルが開かれました。旭川市内から東川に全面移動して活動しているコンサドール旭川(U-12)のベースグラウンドに、札幌から

コンサドール札幌(U-10)、旭川市内の強豪チーム、愛宕、忠和両サッカースポーツ少年団(ともにU-10)が初めて訪れ、8対8のミニゲーム対戦を通じて交流を深めました。グラウンドでは、父兄が用意した豚汁に舌鼓。コンサドール東川父兄で作っている「コンサドールチー」対町内のサッカー愛好者チーム「東川おっさんドール」、コンサドール旭川OB対コンサドール旭川4、5期生の試合も行われました。

「2009羽衣音楽祭」今年も開催



9月13日、同音楽祭実行委(東川イペントサポートクラブ主管)が主催する「2009羽衣音楽祭」がキトウシ森林公園で開かれました。今年で14回目。旭川市内、東川町内からアマチュア12バンドが出演しました。午前中曇り空で小雨がばらつき心配された天気でしたが、日中の午後か

らは晴れ間も広がり、初秋の芝生でのんびりくつろぎながら絶好のコンサート日和。町内の常連グループ、おやじバンド、高校生バンドまでさまざまな年代のバンドが出演。時折会場からの笑いも誘って得意のテクニクとハーモニーを聞かせました。



下の向かたを「赤翼」母国で新練習場



道内でも伝統ある旭川市内の下の向かたクラブ「赤翼」(宮野勝会長)の新たな練習場が東川町内に移転して活動を始めました。西町8丁目の民家の車庫で繰り広げられる練習は、毎回深夜まで熱が入っています。

「旭川赤翼倶楽部 かるた道場」と伝統の看板 もかかり、5月から練習を開始しました。

夏季間は週1回程度、12月から4月中旬ごろにかけては、全日本下の向かたの大会(毎年4月)に備えて、週2回以上の練習に集まります。会員は現在、旭川市内を中心に、岩見沢市内、風連町内など高校生から79歳まで約40人。20代、30代の元気いっ

「サドー東」オーケストラが全国一位の快挙



まわりマラソン大会に参加してきたそうです。

今年は60歳を迎えた記念に、と出場した大会で上位入賞、全国大会の切符を手に入れました。

「全国から約8千人の人が集まって素晴らしい大会だった。来年連続出場できないのが残念」と2年後の大会にも代表出場を心に誓っているようです。

「ドッジボール」地域親睦球技大会

8月23日、B&G海洋センターで第37回東川町地域親睦球技大会が開かれました。

あいにくの雨天になったため、町民運動公園でのソフトボール大会は室内ドッジボール(10人制)に種目変更して9チームが出場、ミニバレー(4



人制)には4チームが出場しました。日ごろの運動不足解消にと、にぎやかな歓声が会場いっぱい。ドッジボール競技は東川第三チーム、ミニバレーは強豪キトウシチームがそれぞれ優勝しました。